

1級ボイラー技士合格

下館工高3年・池田祐也君



1級ボイラー技士の試験に合格した池田祐也君。下館工業高校

難関とされる国家資格、1級ボイラー技士の試験に、下館工業高校電子科3年の池田祐也君(18)が1回の挑戦で見事合格を果たした。同校によると、県内の高校生では初めてという。池田君は「何事にもチャレンジしたいと受験した。とてもうれしい」と話す。

昨年11月、池田君は同級生3人と2級試験を受験。高校生の合格率は約3割という難関で、3人とも見事合格した。このうち池田君1人が、3カ月後の2月16日、千葉県市原市の関東安全衛生技術センターで行われた1級試験に挑んだ。

1級試験は、受験者の多くは実務経験者や社会人で、合格率は約5割という。池田君は「最初は合格すると思わなかった。模擬問題で勉強し、合格できる自信がついた」と振り返る。

県内高校生初 一発で難関突破

池田君は4月から日本原子力研究開発機構で働き始める。「最先端の研究もやってみたい」と夢を語っていた。(高橋正樹)



平成23年(2011)日刊24517号

3/8 [火]

発行所 産経新聞東京本社2011
千100-8077東京都千代田区大手町1-7-2
電話東京(03)3231-7111(大代表)

1級ボイラー技士合格



1級ボイラー技士の合格通知を手に社会人に向けて抱負を話す池田祐也さん。下館工業高実習室(田中千裕撮影)

下館工業高を今春卒業 池田祐也さん

工場などに設置されている大型ボイラー管理者に必要な国家資格の「1級ボイラー技士」に県立下館工業高(筑西市玉戸、西野利信校長)在学中だった池田祐也さん(18)が見事合格し、「現役高校生」として県内初の資格取得者となった。同高を卒業したばかりの池田さんは4月から那珂市の独立行政法人・日本原子力研究開発機構への就職が決定しており、「知識の幅を広げて仕事に役立てたい」と、希望の春に胸をなぐらませている。

「現役高校生」で県内初の快挙

ボイラー1級試験はほとんどが2級技士の実務経験者によるステップアップ受験。高校生の資格取得者となった。同高を卒業したばかりの池田さんは4月から那珂市の独立行政法人・日本原子力研究開発機構への就職が決定しており、「知識の幅を広げて仕事に役立てたい」と、希望の春に胸をなぐらませている。

池田さんの1級挑戦は、「卒業まで(目標を作らないと)気持ちが続かない」と思い、1級を取ってやる」と思いスタートした挑戦は、まずは受験資格である2級合格を目指すことから始まった。清浦昌之教師の指導を受け、昨年11月の試験に見事合格。

1級試験に向けては模擬問題集を中心に独学を続け、「解答と照らしながら何とかがいそう」と思っていました。手応えを感じていた。自宅に郵送された合格通知を手に、まずは「仕事で生かせれば何より」と社会人へ向けての抱負を話していた。

清浦教師も「新しいことを勉強したい」という前向きさが合格につながったのでしょ」と、教え子の難関突破を喜んで